

iThenticate、Scopus オンライン講習会を開催します！！

iThenticate は、研究成果の剽窃・盗作
が疑われる箇所を検出し不正を未然に防止
する方法

Scopus は、引用情報、文献および雑誌の分
析結果を論文執筆時に活用する方法



どちらのあなた
がいいですか！

具体例を挙げ実習形式で説明を行います。



1. データベースの概要

(1) iThenticate

- ①盗用・剽窃防止に対する意識向上、不正の防止の方策となります。
- ②出版社や学会へ投稿する論文原稿のチェックに利用可能です。
- ③博士学位論文の発表・公表前の論文剽窃チェックに利用可能です。
- ④手作業では実現できない、広範囲で膨大な量の過去文献との照合が短時間で可能です。
- ⑤日本語で書かれた文章もチェック可能です。

但し、データベース中の日本語の文献登録数は、英語の文献登録数に比較すると多いとは言えません。現在、データベースに登録されている日本語の文献出典は次の2つです。

- ・インターネット上で公表されている日本語の文献(インターネット上でクロール(プログラムによる種々情報の自動巡回)により収集されたデータベース)
- ・CrossRef(クロスレフ)から提供された文献で日本語のもの

※CrossRefとは、2000年に設立された、国際 DOI 財団の DOI(デジタルオブジェクト識別子)

公式登録機関の一つ。4000以上の学会や出版社が加盟し、電子出版物のDOI登録のほか、会員機関向けの剽窃チェックサービス(iThenticateベース)も提供している。

チェックした文書の結果が表示され、「Match Overview」という表示方法で結果を表示します。「34%」という数値は、アップロードした文書(チェックした文書)のうち「34%」が iThenticate のデータベースに入っているソース(学術誌掲載論文や Web ページ)とテキスト部分が一致したという結果を表示しています。

Match	Percentage
1	20%
2	8%
3	2%
4	1%
5	1%
6	1%

「1」～「6」は、34%の内訳をそれぞれ表示しております。

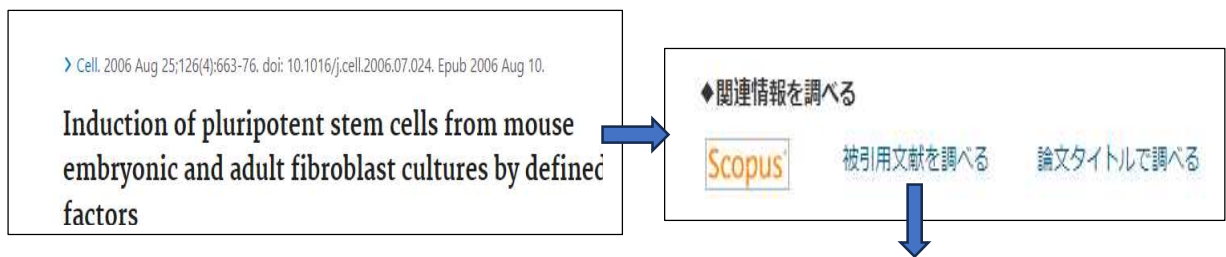
文書に色が付いている箇所は、iThenticate のデータベースと照合して一致した箇所をハイライトで表示しております。

(2)Scopus

- ①エルゼビア社が提供する世界最大級の抄録・引用文献データベースです。
- ②THE 世界大学ランキングの Citation で本学が世界一になった時の抽出データです。
- ③全分野(科学・技術・医学・社会科学・人文科学)において、世界 5,000 社以上の出版社の 22,000 誌以上のジャーナル、6,500 万件以上の文献を収録しています。
- ④何回引用されたかという数値(被引用数)がデータに付与されており、質の高い文献を探せます。

文献タイトル	著者名	出版物名	出版年	被引用数
Article • Open Access Induction of Pluripotent Stem Cells from Mouse Embryonic and Adult Fibroblast Cultures by Defined Factors	Takahashi, K., Yamanaka, S.	Cell, 126(4), pp. 663-676	2006	19,701

- ⑤Pubmed から被引用数が多く、質の高い文献をワンクリックで簡単に探せます。



19,701 件の文献が次を引用しています:

Induction of Pluripotent Stem Cells from Mouse Embryonic and Adult Fibroblast Cultures by Defined Factors
Takahashi K., Yamanaka S.
(2006) Cell, 126 (4), pp. 663-676.

検索語を追加して絞り込み

項目を選択して絞り込み
絞り込む 除外する

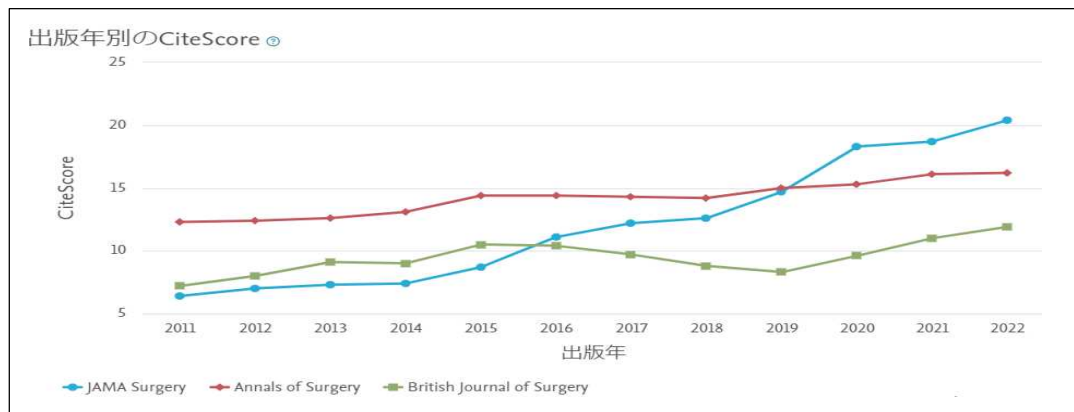
Open Access
 All Open Access (11,670) >

検索結果の分析 全ての抄録を表示 並び替え: 被引用数(多い順)

すべて v エクスポート ダウンロード 引用分析 引用している文献 リストに追加 ...

文献タイトル	著者名	年	出版物名	被引用数
<input type="checkbox"/> 1 Induction of Pluripotent Stem Cells from Adult Human Fibroblasts by Defined Factors Open Access	Takahashi, K., Tanabe, K., Ohnuki, M., (...), Tomoda, K., Yamanaka, S.	2007	Cell 131(5), pp. 861-872	15571

- ⑥参考文献、引用文献にリンクされ、研究の広がりや関連性を把握できます。
- ⑦複数のジャーナルを比較し、論文投稿先の検討にも利用することができます。



- ⑧特定の著者の研究成果の概要やh-index、文献グラフ、または被引用数グラフで分析することができます。